

**UNITE
FOR
GOOD**

やらまいか

クラブテーマ:もっとロータリーを楽しもう!

会長／笠原盛泰 幹事／土井昌司 会報委員会／井澤秀明 田中健一 梅村剛央

例会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 TEL0533-86-4101

事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 Email:hoirc@sala.or.jp

本年度第5回 通算1800回 2025年7月29日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/15 修正出席率
		71名	37名	57.8%	86.1%

ゲスト：市内5高校 生徒16名・教諭5名 (zoom参加も含む) ビジター：(なし)

★会長あいさつ

笠原盛泰会長



皆さん、こんにちは。先週の納涼例会は、度会委員長はじめお疲れさまでした。ハワイアン納涼例会で楽しかったです。形から入るのは良いですね。レイを掛けて、アロハシャツを着て、年齢を忘れて楽しめました。次の行事は10月の秋の行楽になり、本日の理事会で承認されました。広島に出かけて厳島神社の公式参拝と広島グルメを楽しむ素晴らしい企画です。

昨日は、小田直前年度の慰労会がありました。小田年度の皆さん改めてお疲れさまでした。今年度もご協力を宜しくお願いします。

入谷響選手をご存じでしょうか。豊川市初の女子プロゴルファーで、先月のニチレイレディースに出場されて、ルーキーで優勝されました。ご縁がありまして先日お会いしました。身長160cmで266ヤード飛ばします。6歳でゴルフを始めて、小学4年生から中嶋常幸プロのもとで練習を重ね、昨年プロテストに合格、今年初優勝の19歳の選手です。パシフィックの練習場で、レンタルクラブで初めて打ったのがプロへのスタートだったそうです。この先、全米も視野に頑張りたいと言っていました。地元の選手なので皆さんで応援していきたいです。

今の話題は、豊橋中央高校の甲子園初出場ですね。

豊橋が盛り上がっている、さらに東三河全体で盛り上がる良い話だと思います。私は、ちょうど9回までテレビを見ていました。私がスポーツを見ると、応援している人が負けるというジンクスがあるので、見るのをやめたら勝ちました。優勝インタビューを受けていた選手たちのコメントが、とても地元愛のあるコメントで非常に良かったと思いました。

今日は、同じ地元の高校生の皆さんに来て頂きました。恒例ではありますが、皆さんの発表を本当に楽しみにしています。聞くだけで刺激になります。思いっきりアピールをして頂きたいと思います。

最後に、クラブ細則第3条理事及び役員の選挙の第1節により、年次総会に向けて、7月1日の7月定例理事役員会にて指名委員会の設置が承認されました。構成メンバーは、本年度理事役員と過去3年度と10年前の会長経験者の18名です。先ほど、第1回指名委員会を開催して、委員長に樫山さん、副委員長に太田さんが決定しました。このあと指名委員会の樫山委員長に一言ご挨拶を頂きます。今日も1日宜しくお願いします。

★指名委員長あいさつ

樫山修一委員長



皆さん、こんにちは。クラブ細則、第3条理事及び役員の選挙の第1節により、指名委員会が設置され、本日、第1回目の指

名委員会を行いまして、委員長に選任されました。来る 12 月 2 日の年次総会に向けて、次年度の理事役員の選任の作業を行ってまいりますので、よろしくお願いします。

会長ノミニー候補者の基本的条件について皆さんにご案内します。①ロータリー歴 10 年以上(就任時)②理事役員経験 3 回以上③過去 5 年間の年間出席率平均 70%以上。但し、この条件を満たしていても、適任と認めた場合には候補者にあげることが出来ます。今後、総会に向けて慎重審議して参ります。なお、指名委員会の皆さんは、個人のプライバシーに関わりますので、会議の内容等一切口外せぬようにお願いします。また、会員の皆さんもご理解ご協力をお願いします。

★幹事報告

土井昌司幹事

例会臨時変更のお知らせ

8 月 5 日ガバナー補佐訪問例会について

8 月 26 日ガバナー公式訪問合同例会について

フードバンク支援贈呈式の新聞記事について

★委員会報告

40 周年実行委員会 小田副委員長

クパチーノ RC 訪問に際しての友好クラブ交流について

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ



竹本裕一委員長

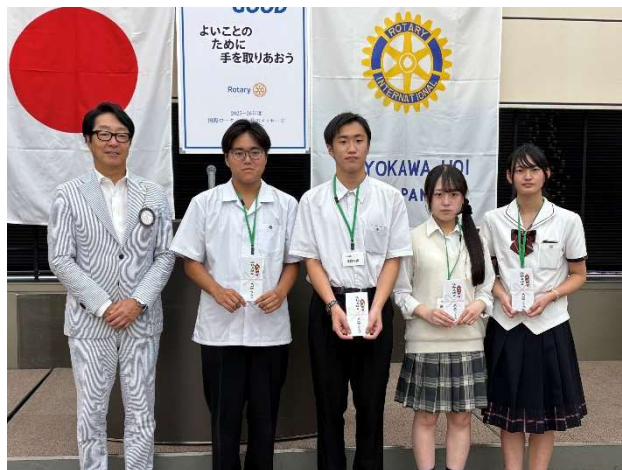
高校生の皆さん、豊川宝飯ロータリークラブの例会に参加して頂きまして誠にありがとうございます。各校の OB 皆さん、後輩た

ちの日頃の活躍を聞いて頂いて、激励と励ましをよろしくお願いします。

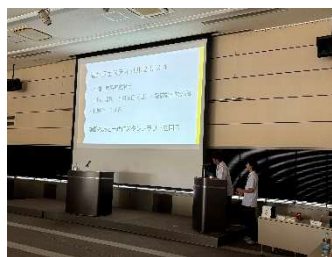
今年のボランティア活動報告は、例年のパターンとちょっと趣向を凝らしまして、各校の発表の後に質疑応答の時間を設けさせていただきます。時間があまりありませんので、1 校 1 つずつ、ぜひ聞いてみたいことを質問していただきたいと思います。それではこの皆さん頑張ってください。

活動支援金の贈呈

各学校 2 万円ずつの活動支援金が会長から各学校代表者に手渡されました。



小坂井高校の発表



小坂井高校のボランティア活動を報告します。初めに昨年度のボランティア活動についてです。主なボランティア活動はスライドの通りです。学

校周辺美化活動では、1 学期と 2 学期の終業式の後に豊川堤防沿いと本校から小坂井駅までのゴミ拾いを合計 35 名で行いました。1 学期の堤防沿いのゴミ拾いは、酷暑の中、汗だくでみんながんばりました。様々な種類のゴミがあり、ゴミ袋は 10 袋ほどになりました。2 学期の学校から小坂井駅までのゴミ拾いでは、タバコの吸い殻やガラスの破片がたくさん落ちていました。たくさんの生徒が利用する道なので、地域の 1 人として美化活動に取り組んでいきたいと思います。

豊橋善意銀行主催の善意フェスティバルでは、68 名が特別支援の方たちと一緒に豊橋動植物公園でスタンプラリーを行いました。当日は 1 年生から 3 年生まで多数の希望者が集まりボランティア活動を行いました。

11 月には、ボランティア委員会と地域の福祉活動を支援するために赤い羽根募金を実施しました。その結果、合計で 53,097 円の寄付金を集めることができました。

続いて今年度の報告と予定です。昨年に続き、今年も善意フェスティバルが計画され、31 名が集まりましたが、今年は雨天中止となっていました。

6 月には豊川市役所主催の豊川シティマラソンが

開催されました。健康促進や地域の活性化を目的として、豊川陸上競技場で行われました。参加者は26名で当日は走者のサポートやレースの補助をしました。

次に、今年から新しく始めた夏の献血ボランティアについてです。夏の献血ボランティアを始めた理由として、血液の不足があります。血液は人工的に作ることができず、長期間保存することもできないため、献血によって継続的な確保が必要です。少子高齢化により献血可能な人口が減少する一方、輸血や血液製剤を必要とする患者数は増加しており、深刻な血液不足が続いているそうです。特に酷暑の夏は協力者が少なくなるため、病院などの医療機関だけでなく医学研究用血液の不足にまでつながります。そのため、現在闘病中の方々の命だけでなく、将来の病気治療にも関わる重大な事態だそうです。実際大量出血をして輸血を受けた先生のリアルな体験談を聞き、私のクラスでは多くの生徒が献血に参加することを決めました。献血の前日には、献血するための条件の説明を受けました。7月19日に行った献血ボランティアでは、16名が参加しました。当日は、血液センターまで公用車で送迎してもらいました。採血にかかる時間は10分ほどで、その間、看護師の方と話したり、タブレットでYouTubeを見たりしました。当日は献血カードへの登録をしました。登録に少し時間がかかりましたが、登録後はアプリ予約が可能になるので、今後はスムーズに献血をすることができますようになります。献血後は10分以上休憩が必要で、その間、話したり、用意されたお菓子やジュースを楽しみ、リラックスできました。血液センターの方が、若い人の献血を喜んで下さり、若い血液の需要が高いので今後も行事ごとに行うことができればいいなと思っています。

今後の主な活動予定は、夏休み中に青少年ボランティアをし、11月には赤い羽根募金をします。そのほかにもすでに様々なボランティア活動に参加希望者が集まっています。多くの人がこれらのボランティア活動を通して、地域の方との交流の場を増やし、より人の役に立つ喜びや社会や地域に対する関心の向上、社会性や協調性の寛容を目標として今後も継続していきます。以上です。

豊川高校の発表



いきます。

エコキャップ回収についてです。集めたペットボトルのキャップを会社に送り、ポリオワクチンなどのワクチンに変えてもらう活動です。毎週月曜日のお昼の時間に各クラスの代議員に生徒会室までエコキャップの箱を持ってくるもらっています。今回はゴミ袋約20袋分あり、これはおよそワクチン60人分になります。集まったエコキャップは、明治安田生命さんに回収してもらいました。しかし明治安田生命さんがエコキャップ回収を終了したため現在別の業者を探しています。

次に募金活動についてです。7月10日に豊橋駅で豊橋中央高校さんと1億円募金をしました。1億円募金とは学費が払えない学生のために年間120,000円の無利子の奨学金の資金を集めるための募金活動のことです。その日の集まった金額は11,530円でした。1時間位の募金活動でしたが、多くの方が募金に協力してくださいました。暑い中での活動でしたが、いろんな方に頑張ってと言ってもらえ、暑いけど頑張ろうと思えることができました。

次に地域清掃についてです。地域清掃は3つのグループに分かれて、日ごろ学生が使っている最寄り駅からの通学路の学校近くの公園を日ごろの感謝を込めて清掃する活動です。今期は7月11日に行い、インターアクトクラブ、登山部、男子卓球部など多くの人が参加してくださいました。当日は、みんなが積極的に活動したおかげでゴミ袋4袋分を集めることができました。

最後に供養清掃についてです。1945年8月7日豊川海軍工廠が空襲に合い、2,500人以上の方が命としました。私たち豊川高校の先輩6人もこの空襲で亡くなられており、8月7日は豊川高校にとって大切な日です。またこの日は毎年豊川高校の登校日になっており、校内で追悼式などが行われます。戦後この空襲で生き延びた海軍工廠の従業員や遺族の方々が中心となって八七会を設立し、戦没者の慰霊、工廠や空襲の語り継ぎなどを行っていました。しかし2020年8月7日に会員の高齢化により、やむな

く活動終了となってしまいました。私たち豊川高校生徒会執行部は、戦争のいたみを風化させないために、そして平和を未来につなげるために何かできないかと話し合った結果、八七会の意思を受け継ぎ供養等清掃を続けていくことにしました。現在毎月7日の朝に供養塔清掃を行っています。主に生徒会執行部、クラスの代議員や希望する部活動が参加し、石碑を磨いたり、石碑周りの雑草を抜いたりしています。今年は戦後80年を迎える年なので、より平和について考えながら取り組んでいきたいです。また学園祭でも平和について取り組みをする予定です。

ここで供養塔清掃に参加した生徒の感想を紹介します。「私は最初あまりよく考えずに供養塔清掃していました。しかし豊川海軍工廠で起こったことや同じ位の年で同じ高校に通っていた子が、この空襲で亡くなったことを知り、誠意を持って活動するようになりました。8月7日はいつもの倍以上きれいにし、平和について考えながら取り組みたいです」以上で発表を終わります。

宝陵高校の発表



宝陵高校生徒会です。今から1学期の生徒会活動及びボランティア活動について発表させていただきます。まず宝陵高校では生徒会活動の

一環としてスライドにある4つの活動を行っています。この4つの活動に加えて、各期の生徒会役員が掲げる公約をもとに独自の活動を行っています。各期の初めに生徒集会を行い、活動報告や活動予定の周知をしています。

前期に行った活動の成果を紹介します。まず前期エコキャップ運動について紹介します。5月26日(月)から30日(金)の1週間、各クラスに回収ボックスを設置しました。その結果2,638個のエコキャップを回収することができました。回収したエコキャップは回収業者へ持っていき、そこからワクチンの購入につなげてもらいます。

続いて前期募金活動について紹介します。5月29日(木)30日(金)の2日間登校時に昇降口に立ち、募金の呼びかけをしました。募金先は、各期ごとに生徒会役員で相談して決めています。今回の活動では3年生がいなかったこともあり、2,883円集めることができました。このお金は日本赤十字社を通して

被災地へ寄付します。

続いて前期クリーン活動について紹介します。5月26日(月)と6月17日(火)の授業後に生徒会役員と清掃美化係で通学路のゴミ拾いを行いました。側溝や植木など細かいところまで目を配り、地域の美化に努めました。

最後に前期あいさつ運動について紹介します。4月16日(水)から18日(金)までの3日間登校時に昇降口に立ち元気に挨拶を行いました。挨拶を習慣化することで友達と気持ちよく1日をスタートさせることができました。

ここからは生徒会活動以外で行っているボランティア活動について紹介します。宝陵高校には地域のお祭りや式典、行事の運営や実習施設のイベントの運営など、多種多様なボランティアの案内が届きます。教室に掲示されたボランティアの中に興味があるものがあれば、担当の先生に申し出て申し込みをします。特に毎年5月末から6月初めに開催されている豊川リレーマラソンの応援ボランティアには多数の生徒が参加しています。1年生から3年生まで毎年参加すると言う生徒も少なくありません。豊川リレーマラソン以外にもスライドにあるようなボランティア活動に参加しています。地域のお祭りや実習で行く福祉施設のイベントに多くの生徒が参加しています。夏休みには数名の生徒が豊川市平和祈念式典に参列し、ボランティアも行う予定です。

宝陵高校では3年間で10回以上、ボランティア活動に参加すると、ボランティア功労者として表彰されます。コロナ禍が明け多くの生徒がボランティア活動に積極的に参加し始めたこともあり、今年度の3年生では既に5名以上が表彰の対象となっています。また12月にある体験発表会では、ボランティア活動に参加した生徒の中の代表者が1年の活動についてスライドを使って発表を行います。学校全体として奉仕の精神を大切にし、積極的に地域に貢献していきたいと思います。以上で宝陵高校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

国府高校の発表



皆さん、こんにちは。愛知県立国府高等学校生徒会です。国府高校は前期の間で4つのボランティアに参加しました。

一つ目は、ゆうあ

いの里ボランティアです。ゆうあいの里ボランティアは、ゆうあい里まつり運営ボランティアと清掃ボランティアに国府高校は毎年参加しています。内容は、花壇の整理をしたり、草を刈ったりと非常にシンプルなボランティアを行いました。暑い中みんな協力して頑張っていたので、僕も一生懸命頑張りました。

次に国道付近の清掃ボランティアです。このボランティアの参加者に聞くと、国道付近には、缶やタバコ、ペットボトルがゴミのほとんどで、やはりポイ捨てがこの地域には多いのかなと言う印象がありました。このボランティアは、東海日日新聞さんに紹介してもらいました。ありがとうございます。

校内ボランティアにも積極的に参加してもらっています。アイシティ eco プロジェクトという企画で、コンタクトケースを集めてリサイクルし、色鉛筆やうちわ、T シャツなどに変えるといったプロジェクトです。何年もこのプロジェクトに参加しています。現在も回収ボックスが満タンになっている状態です。

最後にひょうたん池の清掃ボランティアです。国府高校には昔からあるひょうたん池を大事にしています。夏と冬に分かれて定期的に清掃を行っています。

今回は4つの主なボランティア活動の発表をしましたが、国府高校生は、これ以外にも、子ども食堂や地域のスポーツイベントのボランティアなど個人においても積極的にボランティアに参加しています。これからも国府高校はボランティアを通し、地域社会に貢献していきます。ありがとうございました。

御津あおば高校の発表 zoom 発表



御津あおば高等学校の発表を始めます。宜しくお願いします。

私たちの活動は、大きく3つに分けられます。校内活動、校内ボランティア、そして校外ボランティアです。それぞれの活動について詳しく紹介させていただきます。

まず一つ目に校内活動についてご紹介します。私たち御津あおば高校生徒会は、毎週水曜日のお昼休みに「RADIO MITO」という校内放送を行っています。この活動は、生徒の皆さんに楽しい学校生活を送ってもらうことを目的としています。内容は多岐にわたり、最近の学校での出来事や季節の話題、そして生徒の皆さんからのリクエストに応じて選んだおすすめ曲の紹介などを行っています。また、学校全体へのお知らせにも活用されて、教育実習の先生が来たときは特別ゲストとして紹介しました。好きな食べ物から、なぜ先生を目指そうとしたかまで、深く聞くことができ、教育実習中の先生と生徒の距離を縮めることができました。このように、その時々で興味・関心が引ける話題も心掛けています。

二つ目は、学校内で行っているボランティア活動についてご紹介します。まず、ペットボトルのキャップを回収する「エコキャップ運動」に取り組んでいます。校内のごみ捨て場近くに、いくつかキャップの回収箱を設置して、生徒や先生がキャップを入れてくれる仕組みです。今年度は20kgのキャップが集まりました。これらはCBCチャリティ募金を通じて、フードバンクや子ども食堂など、必要としている人たちのもとへ届けられます。これらは学校給食の支援にもつながっているそうです。キャップ1つでは何も変わらないかもしれませんが、たくさん集まれば誰かの助けになります。小さなことですが、これからも続けていきたいと思っています。

次に中庭や畑の手入れ活動についてご紹介します。校内ボランティア活動として、畑の整備の花植え、中庭の掃除などを行っています。これらの活動は、学校をより過ごしやすく、きれいな環境にすることを目的に生徒会執行部と御津ボランティアプロジェクト(通称 MVP)のメンバーを中心として行われています。昨年度は、畑を整備してサツマイモを植えました。秋にはボランティアメンバーで芋掘り大会を開催しました。この活動はとても盛り上がり、参加した生徒たちにとって思い出に残る活動となりました。校内ではこのように様々なボランティア活動が行われており、今までボランティアに参加したことがない生徒も気軽に参加できるように取り組んでいます。そうして、校内ボランティアを通して「次は校外のボランティアにも挑戦してみたい」と感じる生徒も多くなります。このように御津あおば高校ではボランティア活動がとても盛んで、生徒一人一人が成長するための機会がたくさん用意されています。

またロータリークラブの皆様のご協力により、花

の植栽活動も実施しています。生徒会とMVPが協力して取り組むことで、より美しく魅力的な中庭づくりに努めています。チューリップやトマト、サツマイモなど、季節ごとの植物を協力して育てており、いつも花がきれいに咲く、心が安らぐ空間になっています。今後もこの活動を継続し、さらに発展させていきたいと考えています。

最後に校外ボランティア活動についてご紹介します。今年度、前期の校外ボランティアは4月の御津神社に6名、6月の豊川リレーマラソンで2名が活動しました。今年度の豊川ボランティアなびでは46名、延べ113名のボランティアに参加予定です。御津ボランティアクラブには新一年生も加入し、全員のボランティアに対する意欲が強く、士気を高めあっていると感じています。この雰囲気を崩すことなく、後期生徒会へ繋いでいけたらと考えています。以上で御津あおば高校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

★ボラン・コラボ・穂の国7交流会

テーマ

みんなで何かをやるとしたら
どんなことができるか？
どんなことがやりたいか？

テーブルディスカッションのまとめ

- 今年は戦後80年になるので、供養塔清掃を豊川高校だけでなく、豊川市内の高校生みんなで清掃をしたい
- 豊川高校では、8月7日の追悼式で献花をします。献花の花は枯れちゃうので、供養塔の周りにみんなでお花を植える作業をしてみたい。
- 戦後80年になるので、豊川市内の戦争跡地巡りのツアーが出来たら良い
ツアープラン(豊川高校のバスを利用)
豊川駅に集合→豊川海軍工廠平和公園見学と昼食→諏訪の供養塔の見学と清掃→豊川の供養塔の見学と清掃→豊川駅で解散。是非検討して頂きたい

★ニコニコボックス

竹本裕一会員 本日の例会を担当します
小田伊佐浩会員 40周年事業へのご理解を

★新聞記事

東日新聞 2025年(令和7年) 7月30日(水) ⑥
第3種郵便物認可



笠原盛泰会長(左)と各高校の代表生徒ら
(豊川商工会議所で)

「地域社会に貢献したい」

豊川宝飯
RC例会
高校生たちがボランティア活動発表

ボランティア活動を行っている豊川市内の高校生たちが29日、豊川宝飯ロータリークラブ(RC、笠原盛泰会長)の例会で活動発表を行った。発表したのは、小坂井、豊川、宝陵、国府、御津あおばの高校5校。生徒会役員らがプロジェクトリーダーを使って報告し、御津あおばの生徒会はズームで参加した。小坂井の生徒会は今回初めて夏の献血活動を行い、「若い血液の需要の高さを

知った。今後も続けていきたい」と話した。豊川の生徒会は2

020年から続いている供養塔清掃について報告し、「戦後80年、より平和について考え、取り組んでいる」と報告した。宝陵は「福祉と看護の学校として、奉仕の精神のもと、これからも地域に貢献したい」と語った。国府は生徒会活動のほか、個人での活動が増え、「地域社会に貢献したいという思いが高まっている」と報告した。御津あおばは校外ボランティアの一つとして地域の祭りを

挙げ、「後世につなげていく力になれれば」と意欲を示した。発表に先立ち笠原盛泰会長は「奉仕活動からの学びに期待します」とあいさつし、各高校に活動費2万円を贈呈した。(吉富恵子)

会報担当：井澤秀明・田中健一・梅村剛央